

年間指導計画表(シラバス)

科目名	福祉・社会福祉基礎	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上について、生活支援技術やこころとからだのしくみとも関連付けながら、理解することができる。
使用教科書 副教材等	社会福祉基礎(実教出版) 介護職員初任者研修テキスト(介護労働安定センター)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会福祉に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割、対人援助や社会福祉制度の基礎的事項を理解しようとしている。また、少子高齢化時代の我が国の今後の社会構造について、財政や政策等、他教科と関連させながら考えることができる。	社会福祉に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、社会構造の変容やライフスタイルの変化などによる社会福祉への影響を考察し、表現することができる。昨今の福祉を取り巻く情勢について、自身の意見を簡潔にレポートにまとめることができる。	授業での学びだけではなく、テレビや新聞記事等から積極的に情報収集を行い、厚生労働省や広島県・広島市の政策、サービスについて、幅広い知識を身に付けるなど、積極的に自ら探究しようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[1編 社会福祉の理念と意義] ・生活と福祉 ・福祉の理念 ・人間の尊厳 [2編 社会福祉の歴史と次代の展望] ・諸外国と日本における社会福祉 [3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度] ・社会保障制度の意義と役割 ・子ども家庭福祉 ・障害者福祉 ・高齢者福祉と介護保険制度	・定期考査等 ・小テスト	・授業・実習での行動観察 ・定期考査等 ・提出課題	・授業・実習での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点
後期	[4編 人間関係とコミュニケーション] ・コミュニケーションの基礎 ・支援における人間関係の形成 [5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度] ・多様な社会的支援制度 ・地域福祉の進展と地域の将来	・定期考査等 ・小テスト	・授業・実習での行動観察 ・定期考査等 ・提出課題	・授業・実習での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[1 編 社会福祉の理念と意義] ・生活と福祉 ・社会福祉の理念	6
	5	・人間の尊厳と新たな福祉社会の創造 (スタディ)ライフスタイルの変化について [2 編 社会福祉の歴史と次代の展望] ・諸外国における社会福祉	13
	6	・日本における社会福祉 (スタディ)私たちのまちを調べる	
	7	[3 編 生活を支える社会福祉・社会保障制度] ・社会保障制度の意義と役割 ・子ども家庭福祉 ・障害者福祉 ・ICF モデル ・障害者福祉の法制度 ・身体、知的、精神障害 ・総合支援法について	12
	8	・高齢者福祉と介護保険制度 ・介護保険制度 ・生活支援のための公的扶助 ・国民の生活を支える社会保険制度	
	9	(スタディ)社会福祉の歴史にかかわる人物	
		前期期末考査	1
	 前期の学習のまとめ	3
	後期	10	[4 編 人間関係とコミュニケーション] ・コミュニケーションの基礎 ・コミュニケーションの意義と役割 ・コミュニケーションの手段と方法 ・支援における人間関係の形成 ・傾聴、受容、共感の姿勢 ・利用者理解と支援者の自己理解 ・社会福祉における支援活動の概念
11		・個人やグループ、家族に対する支援活動 ・チームワークとリーダーシップ (スタディ) ボランティア活動に挑戦	
12		[5 編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度] ・多様な社会的支援制度 ・医療提供体制 ・特別支援教育 ・司法と福祉 ・成年後見制度	16
1		・地域福祉の進展と地域の将来 ・福祉のまちづくり ・地域社会とボランティア	
2		(スタディ)だれもが住みやすいような地域	
		後期期末考査	1
 後期の学習のまとめ	2	

5 その他

社会福祉や地域福祉に関する基本について詳しく学びます。対人援助、介護に関わる法律や制度、社会システムについての内容です。専門用語や介護用語の知識を身に付け、生活支援技術と関連付け、積極的に学習を進めましょう。この科目は介護職員初任者研修の履修内容です。定期考査では、80%以上の得点を目標とし、介護職員初任者研修における学習事項と並行して理解を図りましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	福祉・コミュニケーション技術	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得し、高齢者や障害者など介護を必要とする人との信頼関係を形成し、介護福祉援助活動で活用することができる。
使用教科書 副教材等	コミュニケーション技術(実教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	福祉や介護現場で活用されるコミュニケーション技術の知識や理論に加え、高齢者や支援が必要な方々に対するさまざまな場面で実践できる知識と技術を身に付け、活用することができる。	手話や要約筆記、点字などさまざまなコミュニケーションに関する知識・技術などを活用し、受講生同士や授業担当者との挨拶や会話表現を表現することができる。あわせて、福祉現場では必須のスキルである、記録や報告連絡相談の実践についても、その場に応じて対応することができる。	ICF(国際生活機能分類)に則ったコミュニケーション技術について理解するとともに、相手の価値観や意思を尊重しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもっている。また、自身の考えや思いを伝えようとする主体性をもちながら、それぞれの実践に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 介護におけるコミュニケーション 第1章 コミュニケーションの意義と役割 第2章 コミュニケーションの基本技術 第3章 援助の技法とコミュニケーション 第2編 サービス利用者や家族とのコミュニケーション 第1章 サービス利用者や家族との関係づくり 第2章 サービス利用者に応じたコミュニケーション	・定期考査等 ・学習課題等 ・授業・実習での行動観察	・定期考査等 ・授業・実習での行動観察	・学習プリント等 ・授業・実習での行動観察
	評価点	150点	150点	150点
後期	第3編 介護におけるチームのコミュニケーション 第1章 記録 第2章 チームによる連携 第3章 スーパービジョンの技法	・定期考査等 ・学習課題等 ・授業・実習での行動観察	・定期考査等 ・授業・実習での行動観察	・定期考査等 ・授業・実習での行動観察
	評価点	150点	150点	150点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1編 介護におけるコミュニケーション 第1章 コミュニケーションの意義と役割	8
	5	人間の理解と人間関係、コミュニケーションの基礎 第2章 コミュニケーションの基本技術	8
	6	言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーション 前期中間考査	1
	7	第3章 援助の技法とコミュニケーション 受容と共感	4
		第2編 サービス利用者や家族とのコミュニケーション	6
	8	第1章 サービス利用者や家族との関係づくり サービス利用者や家族との関係	4
		第2章 サービス利用者に応じたコミュニケーション	
		9	
		前期の学習のまとめ	3
	後期	10	第3編 介護におけるチームのコミュニケーション
11		第1章 記録 記録の意義と目的、種類 記録の方法と管理	1
		後期中間考査	
12		第2章 チームによる連携 チームのコミュニケーション	7
1		第3章 スーパービジョンの技法 スーパービジョンの技法(必要性と方法)	8
2		後期期末考査	1
3		後期の学習のまとめ	2

5 その他

高齢者や障害者に関わる福祉の基礎的知識を学ぶとともに、自分についてよく理解しながら他者についても理解していきましょう。発表やペアワーク、グループワークでは協力して演習等を行いながら、対人関係や援助におけるコミュニケーションについて学びます。介護職員初任者研修を目指す生徒は履修するようにしましょう。定期考査では80%以上の得点ができるように、コミュニケーション技術の基礎事項について理解しましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	福祉・生活支援技術①	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、基礎的な介護の知識と技術を習得するとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を身に付け、理解することができる。
使用教科書 副教材等	生活支援技術(実教出版) 介護職員初任者研修テキスト(介護労働安定センター)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	授業での学びだけではなく、テレビや新聞記事等から積極的に情報収集を行い、介護者としての考え方や接し方を身に付けるとともに、家族や親戚など、身近な高齢者の生活課題や、教科書等の事例から、アセスメントし、社会資源につなげる方法を理解することができる。	生活支援技術について基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として思考を深め、適切に判断し、表現することができる。「こころとからだの理解」と関連させて介護実践に適切に活用し、介護の根拠を考え、自身の考えをまとめることができる。	生活支援技術について関心を持ち、意欲的に学ぶとともに、生活支援技術に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して、身体介護、生活支援におけるさまざまな福祉用具、設備等について、既習事項と関連させながら考えようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[1 編 生活支援の理解] 第1章 生活の理解 第2章 生活支援の考え方 第3章 生活支援と介護過程 第4章 多職種協働と他の専門職の役割	・授業・実習での行動観察 ・小テスト等	・授業・実習での行動観察 ・小テスト等 ・提出課題	・授業・実習での行動観察 ・提出課題
	[2 編 自立に向けた生活支援] 第1章 居住環境の整備 第2章 家事の支援 ○介護職員初任者研修オリエンテーション			
	評価点	100点	100点	100点
後期	○こころとからだのしくみと生活支援技術 ・移動の介護 ・睡眠の介護 ・身じたくの介護 ・生活支援技術演習 ・事例による展開 ・生活支援に向けたアセスメント	・授業・実習での行動観察 ・小テスト等	・授業・実習での行動観察 ・小テスト等 ・提出課題	・授業・実習での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[1 編 生活支援の理解] 第1章 生活支援の理解	3
	5	第2章 生活支援の考え方	3
		第3章 生活支援と介護過程	3
		第4章 多職種協働と他の専門職の役割	3
	6	[2 編 自立に向けた生活支援] 第1章 居住環境の整備	3
		第2章 家事の介護	3
		<u>○介護職員初任者研修オリエンテーション</u> ・職務の理解	1
	7	<u>介護における尊厳の保持・自立支援</u> ・生活支援の理解	14
	8	・生活支援に向けたアセスメント	
9	前期の学習のまとめ ・前期に学んだ介護職員初任者研修内容理解の確認	2	
後期	10	<u>○こころとからだのしくみと生活支援技術</u> ・移動の介護 ・睡眠の介護	16
	11	・身じたくの介護	
	12	<u>○こころとからだのしくみと生活支援技術</u> ・生活支援技術演習	17
		・事例による展開	
	1	・生活支援に向けたアセスメント	
	2		
	3	後期の学習のまとめ ・後期に学んだ介護職員初任者研修内容理解の確認	2

5 その他

対人援助における基礎的な知識と技術を身に付けるため、グループワーク、演習、校内実習があります。例えば、衣服の着脱や体位交換など、身体接触をとまなう実習もあります。専門用語や、介護用語の知識を身に付け、こころとからだの理解と関連付けて学んでください。介護職員初任者研修の学習内容に係る履修内容には、下線を引いています。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	福祉・こころとからだの理解	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自立生活を支援するために必要な介護実践の根拠となる心理、人体の構造と機能、発達と老化、認知症及び障害に関するこころとからだの基礎的な知識を習得し、生活支援技術と関連させて介護実践に適切に活用することができる。
使用教科書 副教材等	こころとからだの理解(実教出版) 介護職員初任者研修テキスト(介護労働安定センター)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	認知症や障害、こころとからだの基本的な知識を理解しているとともに、介護や看護等に関連する人間のからだのしくみについて、概要を説明することができる。また、地域包括ケアシステム時代の中、支えあいやサポート体制について基本的な制度の知識を身に付け、活用することができる。	からだのしくみについての確にとらえ、からだところの働きについて、思考を深め、表現することができる。福祉的なもの見方を踏まえ、生活支援技術と関連させて介護実践に適切に活用できるよう、介護の根拠を考え判断し、表現することができる。	授業での学びだけではなく、テレビや新聞記事等から積極的に情報収集を行い、福祉の昨今の動向や、他教科と関連させながら、幅広い知識を身に付けるなど、こころとからだについて探究しようとする。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[1編 こころの理解] こころの理解 からだのしくみと理解 [2編 生活動作に関するこころとからだ] 生活動作・生活場面の変化のこころとからだ [3編 発達と老化の理解] 人間の成長と発達 老年期の理解と日常生活 高齢者と健康	・定期考査等 ・小テスト	・授業・実習での行動観察 ・定期考査等 ・提出課題	・授業・実習での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点
後期	[4編 認知症の理解] 認知症をとりまく状況 認知症の基礎的理解 認知症に伴う心身の変化 地域サポート [5編 障害の理解] 障害の基礎的理解 生活機能の障害の理解 障害に伴う心身の変化と日常生活 障害と地域生活支援	・定期考査等 ・小テスト	・授業・実習での行動観察 ・定期考査等 ・提出課題	・授業・実習での行動観察 ・提出課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	[1編 心の理解] 心の理解 ・生活と健康 ・人間の欲求の基本的理解 ・動機付け ・自己概念と尊厳	16	
	5	・思考、感情のしくみ ・学習、記憶のしくみ ・知能のしくみ ・適応と防衛機制 からだのしくみと理解		
	6	・生命維持、恒常性・脳、神経系 ・運動器系 ・呼吸器系 ・感覚器系・内分泌系 ・泌尿器系・生殖器系 ・血液、免疫系		
			前期中間考査	1
		[2編 生活動作に関する心身とからだ]	10	
	7	生活動作・生活場面の变化の心身とからだ ・身じたく ・移動 ・食事 ・入浴 ・排泄 ・睡眠、休養 ・感染 ・緊急時 ・災害時 ・終末期		
	8	[3編 発達と老化の理解] 人間の成長と発達 ・発達段階・発達課題	6	
	9	老年期の理解と日常生活 ・老年期の定義 ・加齢による心身の変化 ・高齢者の心理 高齢者と健康 ・生活上の留意点 ・健康の維持 ・保健、医療職との連携		
		前期の学習のまとめ	2	
後期	10	[4編 認知症の理解] 認知症をとりまく状況 ・認知症ケアの歴史 ・認知症高齢者の現状 認知症の基礎的理解 ・認知症の症状 ・認知症の診断 ・主な病気の特徴 認知症に伴う心身の変化と日常生活 ・特徴的な症状 認知症と地域サポート ・地域におけるサポート体制 ・家族への支援	16	
	11	(広島市認知症サポーター養成講座を授業内で実施する) ・DVD 視聴・認知症サポーター養成テキストを用いた学習		
	12	後期中間考査	1	
		[5編 障害の理解]	15	
	1	障害の基礎的理解 ・障害の概念 ・障害者福祉の基本理念 生活機能障害の理解 ・身体障害 ・精神障害 ・知的障害 ・発達障害 ・高次脳機能障害 ・難病		
	2	障害に伴う心身の変化と日常生活 ・障害者の心理 ・障害に伴う日常生活の変化 障害と地域生活支援 ・地域生活上のサポート体制 ・家族への支援		
3	後期の学習のまとめ	2		

5 その他

人間の心身とからだについて詳しく学びます。対人援助、特に身体援助における基礎的な内容です。専門用語や介護用語の知識を身に付け、生活支援技術と関連付け、積極的に学習を進めましょう。この科目は介護職員初任者研修の履修内容です。定期考査では、80%以上の得点を目標とし、介護職員初任者研修における学習事項と並行して理解を図りましょう。広島市認知症サポーター養成講座を授業内で実施します。